

開始時間が変更になりました。

公開シンポジウム

2019年3月23日



申し込み web ページ

# 「ことばの意味」をあらためて考える

## —真理条件的意味論を越えて

コリン・イテン著『認知語用論の意味論』の刊行を発端に「真理条件的意味論」を越えるとはどういうことか、あらためてことばの意味をどう考えるべきか、文の意味と真理の関係は何か、そもそも意味論と人間の認知能力との関係は何かを考える。これらの問題は、言語学、認知科学、言語哲学にまたがる重要なトピックである。天地春色に満ちたころ、東京都の名所、清澄庭園にて、この現代的トピックを4名の論者が、あらためて深く掘り下げて自由に語りあう饗宴に、皆様、ぜひご参加ください。



### 認知語用論(関連性理論)の意味論

武内 道子 (神奈川大学名誉教授)

### 真理条件・表意・コミュニケーション

峯島 宏次 (お茶の水女子大学特任准教授)

### Mind(心/脳)の内と外—生成文法・関連性理論・認知言語学

今井 邦彦 (東京都立大学名誉教授)

### 意味と指示—内在主義的意味論の観点から

西山 佑司 (慶應義塾大学名誉教授・明海大学名誉教授)

司会 黒川 尚彦 (大阪工業大学専任講師)

会場：清澄庭園 大正記念館 (〒135-0024 東京都江東区清澄3丁目3-9)

都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅下車 A3口 徒歩5分

日時：2019年3月23日(土) (開場 12時) 12時30分～16時

参加：無料(事前申し込み web ページ [hituzi.co.jp/symposium\\_20190323/](http://hituzi.co.jp/symposium_20190323/) 経由でお申し込み下さい。問い合わせは [toiawase@hituzi.co.jp](mailto:toiawase@hituzi.co.jp)、03-5319-4916 まで、当日参加可)

なお、庭園は150円の入場料で見ることができます。大正記念館は庭園の外にあり、無料です。



主催：ひつじ書房